

淀川左岸線延伸部 都市計画案を承認

大阪市都計審

大阪市の都市計画審議会が17日開かれ、高速度路「淀川左岸線延伸部」

億円とされ、不要不急の巨大大開発として批判されてきました。

の都市計画案を賛成多数で承認。淀川の堤防内にトンネルを埋め込む高速度路「淀川左岸線2期」の都市計画変更案も承認しました。

日本共産党の小川陽太市議は質疑で、延伸部計画は、正確な事業費やその負担割合も決まっておらず、採算の見通しもないと批判。淀川左岸線2

延伸部(全長8・7キロ)は近畿自動車道と阪神高速淀川左岸線・湾岸線・大和川線をつなぎ、新たな環状道路をつくる計画で、維新の会が事業化推進を主張。大部分が大深度(地下約70メートル)の地下式で事業費は3〜4千

期は液状化の恐れがあることから地盤改良が必要とされているにもかかわらず、道路構造を検討してきた技術検討会が非公開になっているなどの問題点を指摘し、都市計画案の承認に反対しました。